

2021年 第42週（10月18日～10月24日）の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
 - 1) 感染性胃腸炎の発生が続いています
 - 2) ダニ媒介感染症に注意しましょう
- 3 新型コロナウイルス感染症について
 - 1) 油断せず、感染再拡大に十分な警戒を！
 - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について
- 5 「結核は、過去の病じゃありません」

1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）（報告のあった全疾患）

(表1)

	疾患名	定点当たり患者数			増減 (今週-先週)
		今週	先週	先々週	
1位	感染性胃腸炎	1.00	0.50	1.00	+0.50

2 発生から見る注意点

- 1) 感染性胃腸炎の発生が続いています

高齢者等の施設内での嘔吐や下痢等の症状見られた場合は、感染性胃腸炎を念頭に置き、対応をお願いします。症状消失後も1週間～1か月程度、便中にウイルスが排出されていますので、引き続き注意が必要です。

感染性胃腸炎とは（兵庫県ホームページ）

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/hw12_000000035.html

- 2) ダニ媒介感染症に注意しましょう

兵庫県内では、日本紅斑熱は今週4人で、今年の累積患者数は21人で、過去5年間で最大となっています。

ダニ媒介感染症

病名	日本紅斑熱	つつが虫病	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）
病原体	日本紅斑熱リケッチア	つつが虫病リケッチア	SFTSウイルス
媒介ダニ	マダニ	ツツガムシの幼虫	マダニ
潜伏期間	2～8日	5～14日	6～14日
症状	発熱・発疹・刺し口重症化することあり		発熱・消化器症状重症化することあり

ダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、虫除け剤を使用し、長袖・長ズボ

ン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。

また、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがポイントです。マダニに咬まれたら、無理に引き抜こうとせず、皮膚科など医療機関で処置をしてもらいましょう。

兵庫県立健康科学研究所の検査では、日本紅斑熱患者1人（女性60歳代、血液（10/17）・痂皮（10/18））で、日本紅斑熱リケッチアの遺伝子を確認しました。

ダニ媒介感染症（厚生労働省ホームページ）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第42週は157人（先週206人）の新型コロナウイルス新規感染者で、第34週（6,732人）をピークに8週連続で減少が継続しており、ワクチンの効果や一人一人の感染対策の効果が出てきています。一方、県内の医療機関や高齢者施設においてブレイクスルー感染によるクラスターが発生しています。3回目のワクチン接種については、12月～1月の開始が想定されており、それまでの間、この感染改善状態を維持することが大事です。

ここで気を緩めることなく、引き続き危機感をもって感染防止対策の徹底をお願いします。

ご自身と大切な人の命を守るためにも、マスクの着用、手洗いや手指消毒、3密の回避等感染防止対策を徹底し、家庭内では定期的な換気やドアノブなど共用部分の消毒、タオルや食器などの共用を避けるなど、感染防止対策をお願いします。

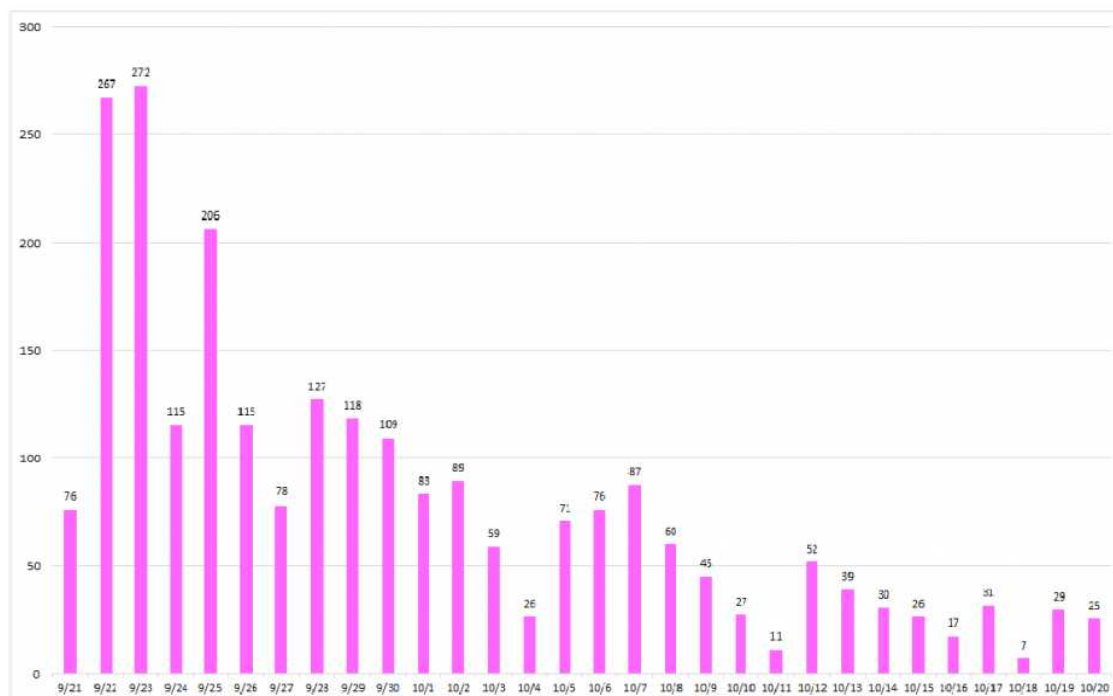
1) 油断せず、感染再拡大に十分な警戒を！

第5波も収束に向かっていますが、感染再拡大への警戒も必要です。

【直近1週間平均患者数】

○直近1週間平均 : 22.7人

【直近1ヶ月の陽性件数の推移（9/28～10/27）】



兵庫県内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html

<皆様へのお願い>

落ち着いた社会生活を取り戻せるよう、感染防止対策の徹底をお願いします。

- 1 体調異常があれば、登校・出勤を控えましょう。
- 2 感染対策を徹底している飲食店を利用しましょう。
- 3 飲食時でも会話の際にはマスクをつけましょう

会食は同一テーブル4人以内、2時間程度にしましょう

- 4 ワクチン接種を積極的に受けましょう

ワクチン接種後も引き続き、**マスクの着用、手洗い、人と人の距離の確保**など基本となる対策の徹底をお願いします。

感染拡大を予防する「日常生活」（ライフスタイル）



新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9:00~17:30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

<問合せ先・予約先>朝来健康福祉事務所

電話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/asagoeizukensa.html>

メール asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実施日 11月実施日 11月4日(木)、11月18日(木)

5 「結核は、過去の病じゃ ありません」

高齢者に関わる皆さまへ

結核は、高齢者が多く発症する感染症です。結核は、症状が風邪に似て目立たないことも多く、また本人が気づかないまま進行してしまうこともあります。早期発見のために、年に1回は定期健診等で胸部レントゲン検査すること、2週間以上続く咳、痰、微熱、倦怠感等の症状のあるときは医療機関を受診することが大切です。

【相談・問い合わせ先】 朝来健康福祉事務所 電話 672-6870

介護スタッフのための結核基礎知識(朝来健康福祉事務所作成)

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/t.jk08/documents/kekkakukisochishiki.pdf>

厚生労働省 結核ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html